



「叱る」と「怒る」の違い

校長 筒井 啓介

生徒の会話で「●●先生に（叱られた・怒られた）」とか「昨日、家で親に叱られた・怒られた」という声を聞くことがあります。状況はともあれ、私たちは「叱る」、「怒る」という言葉を区別せずに使うことが多いような気がします。しかし、辞書で意味を調べてみると分かりますが、「叱る」と「怒る」には大きな違いがあります。簡単にいって、「叱る」と「怒る」の主な違いは、行動の理由が相手のためか自分のためかという点です。叱ることは相手の成長を促す教育的な目的があるのに対し、怒ることは自分の感情を相手にぶつける行為です。

【「叱る」と「怒る」の違い】

	叱る	怒る
目的	相手の成長を促す、改善に繋げる	自分の感情をぶつける
感情	理性的	感情的
焦点	行動や問題点	感情の爆発
伝え方	助言、アドバイス	感情的な表現

■「人はなぜ叱るのか」について考えてみましょう。

叱られることは、決して皆さん的人格や価値を否定するものではありません。むしろ、皆さんがより良い未来を築くための、大切なメッセージやヒントが含まれているのです。

1. 成長のためのヒント

叱られるということは、現在の行動が「もっと良くできる」という可能性を示しています。皆さんの能力を信じているからこそ、「このままではもったいない」「もっと力を發揮してほしい」という期待を込めて叱ってくれているのです。

2. 周囲との関係を学ぶ機会

私たちは一人で生きているわけではありません。学校や社会にはルールがあり、他の人と協力して生活しています。叱られることは、そのルールや、自分の行動が周囲にどのような影響を与えるかを理解するための機会です。他者の視点を学び、より良い関係を築くための大切なステップとなります。

3. 失敗を恐れない心

失敗は誰にでもあります。重要なのは、失敗そのものではなく、その後にどう行動するかです。叱られた経験は、「次はどうすればうまくいくか」を考えるきっかけになります。失敗を恐れずに挑戦し、反省し、また挑戦するというサイクルを学ぶことで、精神的に強くなることができます。

4. 愛情と期待の裏返し

先生や親御さんが皆さんを叱るのは、皆さんことを大切に思い、将来立派な大人になってほしいと心から願っているからです。無関心であれば、そもそも叱るという手間をかけません。叱ってくれる人は、皆さん可能性を信じ、成長を応援してくれています。

■叱られたことをポジティブに捉えよう

叱られたときは、まずは感情的にならずに、なぜ叱られたのか、その理由を冷静に考えてみてください。その経験一つひとつが、皆さんをより賢く、強く、優しい人へと成長させてくれるはずです。叱られることをポジティブな学びの機会と捉え、これから学校生活に活かしていきましょう。

真剣に叱られる

おたがい人間、叱られるということは、あまり気持ちの良いものではない。自分に非があったと認めていても、叱られるということはやはり嫌である。だから、叱られるよりも叱られないほうを好みがちで、これは一つの人情もある。

また、叱る方にとっても、あまり気持ちの良いものではない。嬉しい思いはしない。だからできれば叱られないに越したことはないわけで、これもまた人情の一つといえよう。

しかし、人情と人情とがからみ合って、アマアマのウヤムヤにすぎ、叱りもしなければ、叱られもしないということになったらどうなるか。神様ならいざ知らず、お互い人間である。知らず知らずのうちに、物の見方考え方甘くなり、そこに弱さと、もろさが生まれてくることになる。

もちろん、私情にかられてのそれはいけないけれども、ものの道理について真剣に叱る、また真剣に叱られるということは、人情を超えた人間としての一つの大変なつとめではあるまい。叱られてこそ人間の真の値打ちが出てくるのである。叱り、叱られることにも、お互いに真剣でありたい。

松下幸之助「道をひらく」より抜粋

■ 「やっちゃん！ 西谷 Day」大成功です！！ その1（小学校音楽会）

11月8日（土）に西谷小・西谷中学校を会場として「やっちゃん！ 西谷 Day」を開催しました。当日は天候に恵まれ、会場はたくさんの来場者でにぎわいました。

午前中は、小学校の体育館で音楽会、吹奏楽部のミニコンサートを行いました。その後、中学校の体育館で吹奏楽部定期演奏会、人権講演会を行いました。また、マルシェやステージショーも同時開催されており、1日を通して様々な経験ができました。

今回はじめての企画「やっちゃん！ 西谷 Day」ですが、学校・保護者・地域が連携して開催することができました。皆様のご支援・ご協力に心からお礼を申し上げます。



小学校音楽会で吹奏楽部ミニコンサートを行いました



小学生・中学生・保護者・地域のみなさんがたくさん参加しました



吹奏楽部の演奏で小学生が「ふるさと」を歌いました